ン グ 柱 状 ボ リ 図 千葉市立寒川小学校他1校地質調査業務委託 名 査 調査年月日 <u> 平成 9年 6月 5日</u> 査 位 置 千葉市中央区寒川町1丁目205番地他1か所 平成 9年 6月 7日 点番号 <u> 干草台小学校No.1</u> KBM+0.11 m KR-50総掘進長 29.29 m 孔内水位 GL - 6.29 m担当者名 観 標 深 察 層 記 録 標 潍 試 験 原位置試験 採 取 土 土 色 層 記 深 深 深 10cmごとの 試 試 進 尺 高 度 厚 質 回数 打擊回数 質 料 記 度 記 N 値 度 験 度 月 黄人量 番 10 20 30 m m 号 名 m m 調 号 m cm cm cm 名 号 H m m 暗視· 茶褐 盛土・口 ガラ・砕石少量混入 ボク -0.89 1.00 暗褐 旧表土、含水分少量 2 15 r = 1.28 c = 0.61  $\phi = 12^{\circ}$   $E_{50} = 40$   $w_{n} = 127$ 1.15 2 ·地耐力試験 "qd=40 KBM- 1.5m 含水分中位 1.45 2 □ - A 茶 褐 スコリア少量混入 4 2 2 31 18 13 2-1 2m以深所々虫孔状 Lm2.46 2.90 Fc=94 30 15 15 Pc=5. 10 Cc=1. 39 3.15 含水分中位、スコリア少量混入 3.45 粘土質ローム 茶 褐 4m以深細砂を薄く挟み、酸化鉄微量混入 4.15 1 粘性強い 4.45 2 15 5.15 色調の変化多く、酸化鉄多量、粘性強い 茶 6.3m付近に宙水存在 5.46 褐 7m以浅暗茶褐、含水分中位、6m~6。 1 15 6.15 砂混り凝灰質粘土  $\overline{12}$ 3m間乳黄灰 33 (GL-6.3m 宙水) <del>平</del>  $\gamma = 1.52$  c = 0.156.48 7m以深暗黄灰、含水分やや多量、細砂や 暗  $\frac{3}{33}$   $\frac{1}{20}$   $\frac{2}{13}$ 7.00 7.15  $\phi = 1^{\circ}$   $E_{50} = 15$   $\forall n = 80.4$   $E_{50} = 16$ や多量混入 黄 灰 2-2 7.48 <u>-7.79 7.90</u> 7.4m以深小円碟少量混入 Lc 8.15 含水分中位、粘性中位 凝灰質粘土 乳黄灰 Pc=1. 33 Cc=0. 60 細砂・酸化鉄少量混入 8.45 -8.79 8.90 2 14 9.15 (GL-9.0m 泥水位) <del>=</del> 含水分多量、粘性中位 9.46 砂混り凝灰質粘土乳褐灰 層上部酸化鉄少量混入 2 10.15 2 細砂やや多量混入 10.69 10.80 10.45 60 24 | 27 11.15 11.39 11m~12m間色調不均質 12 46 30 14 | 16 | 16 12.15 細砂 | 暗 黄 灰 | D S 1 | 含水分中位、粒子不均一 12.45 -13 43 12 16 15 13.15 13.2m以深酸化鉄少量混入 13.45 13.4m以深シルトを薄く挟む <u>-13.79 13.90</u> 27 7 | 10 | 10 30 14.45 15 含水分中位 15.15 11 | 11 | 11 粒子不均一 15.45 酸化鉄・小円礫・浮石少量混入 16 16.15 37\_ 10 | 11 | 16 16.45 -17 17.15 6 6 16m以深含水分やや多量 暗 ≪ 17.45 18 32 30 8 | 11 | 13 18.15 灰 18.45 Ds2 19 細砂 ₹ 11 | 13 19,15 40\_ 16 <u>30</u> 暗 19.45 -20 黄 25 30 6 9 | 10 20.15 18.9m以深暗黄褐色 -21 9 13 21.15 28 6 <u> 30</u> 21.45 F22 29 30 7 10 | 12 22.15 20.2m~23m間シルトを薄く挟む 22.45 -23 23.15 47 16 18 13 24 -23.89 24.00 10.10 24.15 59 15 22 22 30 24.45 γ:湿潤密度(g/cm³) 60 35 15 25 5 -25 25.15 c:粘着力(kgf/cm²) 25.30 φ:内部摩擦角(°) 26 26.15 60 22 30 E50:変形係数(kgf/cm²) 含水分やや多量 26.37 暗黄褐 Ds3 粒子不均一 細砂 Wn:自然含水比(%) 60 17 -27 26 7 34 浮石少量混入 27.15 Fc:細粒分含有率(%) 27.32 Pc: 圧密降伏応力 42 -28 18 28.15 (kgf/cm<sup>2</sup>) 28.30 Cc:圧縮指数 15 4 45 -29 -29.18 29.29 29.15 qd:最大試験荷重 29.29  $(tf/m^2)$ 

## ボーリング柱状図

千葉市立山王小学校他2校エレベ-タ-設置地質調査業務委託

ボーリング

事業・工事名

ボーリング名 発 注 機 関 調査業者名 孔 口 標 高			ı =	章 台 小 ———————————————————————————————————				. 1 調査位置 千葉 市局建築部営繕課	יוי 1	ш 15	1	查其				也(稲 毛		5日 ~ 18				北 緯 3 ½ 東 経 1 4		3 8	'		
								主任技師			現代	現 場 代 理 人				コ ア 鑑 定 者					ボ-リング 責 任 者						
			H= 角 0.05m		180° 上	$\sum_{i}$	90°	方 北 0° 地 270° 90° 盤 鉛 五 東 勾 直 90°	水平 0°	使用機種	試	試 錐 機				KR - 50				ハンマ 落下用		半自動	落 -	下装	置		
3 3	掘	! 長	3	0.43m	度	下。	) <u> </u>		西   東   勾   直     向   180° 南   配   90°	,	機種	エ	ンシ	ブン	,		NS	7 5			ポン	プ	\	<b>/</b> - 5			
	 標	層	深	柱	土	色	相	相	記	子	L					 票 準 貫	入	 試	<b></b> 験			原		試丬	料 採	取	室
	120	,	,,,	-							K 📜	100	mごと	<b>この</b>								深	試 験 名	深			内試
	高	厚	度	状	質			対		(m	n)	<u> </u>	撃 回		回 数		١	<b>V</b>					および結果		料	取	<b>験</b>
					X		密	稠		浿		ξ   ≀	10	20	/ 貫 入							度		度	番	方	
)	(m)	(m)	(m)	図	分	調		度	事	F	3	) 10	20	30	入 量 (cm)	0 10	20	. 3	30	40	50 60	(m)		(m)	号	法	<u> </u>
	- 0.45	0.50	0.50		盛土・口・ム	茶褐		かい	0.2m以浅アスファルト及び砕石主 体。含水小。 0.6m以浅黒ボク主体。			<sub>5</sub> 2	2	2	7												
1								中位、	1.5m以浅含水小、以深中。		1.1	Ĭ	2		7 30	7								1.70			
2						茶褐		軟	所々虫孔状を呈す。 粘性中。 スコリア少量混入。		2.1	12	1/11	1/9	3/32	3						2.70		2.50	T1	Т	物理 力学
3								かい			3.1	16	1/6	1/8	3 30	3 0						3.30	孔内水平載荷試	験			
ŀ	-3.85	3.40			粘土質	茶		軟ら	スコリア少量混入。 粘性やや大。含水中。		4.1	5 1	1/12		2 33	2 0											
5	-4.75	0.90	4.80		凝						4.4 5.1	8 5 1	1	1	3/32									5.00			#4m I
6				V/V/V/ V	灰 質 粘	乳褐乳灰黄~黄		らかい	酸化鉄、浮石少量混入。粘性大。 含水やや大。所々色調変化。 6m以深乳黄灰色を呈し、不規則に 細砂少量混入。		5.4 6.1	_ 1	1	1	3	3 0								5.80	T2	Т	物型
	-6.55	1.80	6.60	),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	土			-	今休に細砂やや名景今有	5/ 6.8	15 B3 6.4 7.1	5				3 0											
				/\/\/\	砂混り 凝灰質 粘土	 		一でいい	注解に対しているとのである。 深石少量、酸化鉄やや多量混入。 粘性中。含水中。 7.4m以深乳黄褐色を呈す。 8m以深含水大、粘性大。		7.4	6	2	3 11	6 31	6											
	-8.25 -8.65		8.30		凝灰質 粘土				器时以深含水人、粘性人。 粘性中。含水中。		8.4	22			3/32	3											
)									10.25m以浅暗黄褐色を呈し、含水 大。		9.1		2	2	5 30	5											
)					,				10~10.25m凝灰質粘土挟有。 10.25m以深含水中。		10.1		6	10	17 30	17	8										
					,				所々酸化鉄少量混入。		11.1	<sub>15</sub> 16	21	23 8	60 28	64						<u> </u>					
•											11.4 12.1	13			37 30				a a								
3									13~16m小円礫点在。		12.4 13.1		5	5	16												
1									13.5~14.5m茶褐色を呈す。 粒子不均一。		13.4	144	19	24		16	« <u></u>	<u></u>									
									123 1 2 3		14.4	15			54 30	54					>						
5						暗	緩				15.1 15.4		7	11	23 30	23		P									
6					ν ν ν	黄褐	\ \ \				16.1 16.4		6	7	18 30	18											
7					知 砂 砂	暗	非常に				17.1	<sub>15</sub> 5	8	11	24 30	24		P									
3					,	黄灰	密な		18.2m付近シルト薄く挟有。		17.4 18.1	_	11	18	36 30	36			8								
9					· 						18.4 19.1	1.0	13	17	40	40											
)					,						19.4 20.1	_	8	11	24 30												
					,						20.4 21.1		10					1									
											21.4	15			28 30	28		ø									
2											22.4		12			38											
•									23m以深暗黄褐色を呈す。		23.1		6	13	24 30	24		<				1					
Ļ											24.1	13	13	15	41 30	41				0_		-		-			
5	-24.75	16.10	24.80		,						24.4 25.1	14	22	24 8	60 28	64					-	•					
ŝ											25.4 26.1				51	51											
7						-	非				26.4 27.1	15 21	32		60 22												
8					細砂	暗黄褐	常に密		所々粒子粗く不均一。 含水やや大。 所々小円礫点在。		27.3	37									_	<b>→</b>					
						9	出な		S I S MAN INCOME.		28.4	10	30	5	60 25 60							>					
9											29.1 29.3	32	30 7		60 17	106					-:	→ <b>&gt;</b>					
)	-30.38	5.63	30.43	• • •	,						30.1	18	15	27 8	60 28	64					-:	>		1			